

祝 詞

文部大臣 小川平二



このたび社団法人高分子学会が設立 30 周年を迎えられるに当たり、一言お祝いの言葉を申し述べます。

高分子学会はわが国が経済の復興と再建に歩み始めた昭和 26 年に設立されて以来、高分子に関する科学の基礎的研究およびその開発研究に努められ、過去幾多の輝かしい研究成果をあげながら着実に発展されましたことは、会員諸氏のたゆみない努力の賜物であり深く敬意を表するものであります。

半世紀前、繊維素モデルの合成に端を発した高分子科学は、その後めざましい発展をとげ、その研究領域は、電気、機械、建築、医学、農学などの分野にまで展開し、今や宇宙開発や生命科学にまで及んでおります。このように高分子科学の研究領域は、極めて広く、またその研究成果は産業界に多大の貢献をもたらし、ひいては生活文化の向上に役立っているのであります。

わが国の高分子科学は、他の学問分野に比して、早くから先導的、独創的な研究を展開して世界をリードし、またその研究成果の実用化は、わが国の産業の飛躍的伸長の一因ともなっているのであります。これらの原動力となった高分子学会の功績は、誠に大なるものがあります。

わが国は、学術研究と科学技術の飛躍的な発展を基盤として、高度工業化社会の一員として成長するに至り、著しい産業経済の発展と国民生活の向上をもたらしました。資源に乏しいわが国は、「科学技術立国」として優れた人的資源の英知を結集し、創造性豊かな研究開発を推し進め、全人類への貢献と同時にわが国の存立を確保していくことが肝要であると考えております。

このような観点に立つ時、資源の制約も少なく、限りない将来性を秘めた高分子科学は、わが国の発展にとって重要な役割を果たすことが期待されております。広い分野の研究者の研究能力を組織的に結集することができる高分子学会に課せられた使命はますます増大するものと思われま

このときに当たり、過去 30 年を振り返り、今後一層の発展を期し、各種の記念事業を企画されますことは、誠に時宜を得たものであります。その成果に強く期待を寄せるとともに、今後ともわが国の学界および産業界の将来に多大な成果をもたらされんことを祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。